

# ぼくが生きてる、ふたつの世界

泉南市手話言語条例制定記念

2026 憲法週間&男女共同参画週間

## 「市民の集い」

伝えられない想いがあふれます。



監督: 呉美保 主演: 吉沢亮 脚本: 港岳彦

忍足亜希子 今井彰人 ユースケ・サンタマリア 烏丸せつこ でんでん

原扶貴子 山本浩司 河合祐三 長井雄里

原作: 五十嵐大「ぼくが生きてる、ふたつの世界」(冬冬舎刊) 企画: カブチユース・山岡秀幸

制作: ぼくが生きてる、ふたつの世界 制作委員会(ワン・トゥー・スリー・フォー・ファイブ・シックス・セブン・エイト・ナイン・テン・イレブン・トゥエルブ・スリーティーン・フォーティ・ファイブ・シックスティーン・セブンティーン・エイトティーン・ナインティーン・ティーン・トゥエンティ・トゥエンティワン・トゥエンティツー・トゥエンティスリー・トゥエンティフォー・トゥエンティファイブ・トゥエンティシックス・トゥエンティセブン・トゥエンティエイト・トゥエンティナイン・サティーン・フォーティ・フォーティワン・フォーティツー・フォーティスリー・フォーティフォー・フォーティファイブ・フォーティシックス・フォーティセブン・フォーティエイト・フォーティナイン・フィフティーン・フィフティワン・フィフティツー・フィフティスリー・フィフティフォー・フィフティファイブ・フィフティシックス・フィフティセブン・フィフティエイト・フィフティナイン・シックスティーン・シックスティワン・シックスティツー・シックスティスリー・シックスティフォー・シックスティファイブ・シックスティシックス・シックスティセブン・シックスティエイト・シックスティナイン・セブンティーン・セブンティワン・セブンティツー・セブンティスリー・セブンティフォー・セブンティファイブ・セブンティシックス・セブンティセブン・セブンティエイト・セブンティナイン・エイトティーン・エイトティワン・エイトティツー・エイトティスリー・エイトティフォー・エイトティファイブ・エイトティシックス・エイトティセブン・エイトティエイト・エイトティナイン・ニナティーン・ニナティワン・ニナティツー・ニナティスリー・ニナティフォー・ニナティファイブ・ニナティシックス・ニナティセブン・ニナティエイト・ニナティナイン・トウティーン・トウティワン・トウティツー・トウティスリー・トウティフォー・トウティファイブ・トウティシックス・トウティセブン・トウティエイト・トウティナイン)

助成: ◎ 文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

© 五十嵐大/冬冬舎 © 2024「ぼくが生きてる、ふたつの世界」制作委員会 配給: キヤガ GAGA★ gaga.ne.jp/FutatsunoSekai/

母に背を向け、故郷を離れたぼく――。

繊細に紡がれる、きこえない母ときこえる息子、そしてあなたの物語。

GAGA★

参加費無料

定員 350名

(申込不要・先着順)

とき

2026年 6月7日(日) 開場: 午後1時 開演: 午後1時30分～4時

ところ

泉南市立文化ホール

内容

映画上映「ぼくが生きてる、ふたつの世界」

定員

350名(申込不要・先着順)

問合せ

泉南市障害福祉課 TEL:072-483-8252 FAX:072-480-2134  
E-mail: kousyou-f@city.sennan.lg.jp

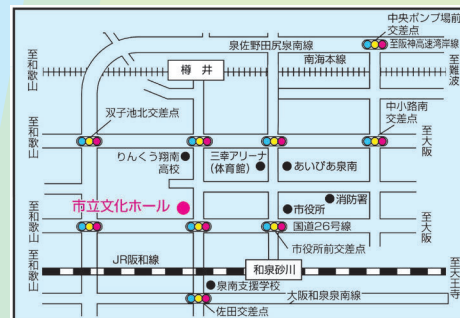
泉南市人権推進課 TEL:072-480-2855 FAX:072-482-0075  
E-mail: jinken@city.sennan.lg.jp

一時保育

対象は1歳から就学前まで、定員12名(応募多数の場合は抽選)  
5月28日(木)までに人権推進課までお申込みください。

その他

字幕・手話通訳・副音声あり





きこえない母、きこえる息子  
繊細に紡がれる親子の物語

日本国憲法の理念の一つである基本的人権の尊重について改めて考え、女性と男性がともに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮することができる社会づくりのために、憲法週間&男女共同参画週間「市民の集い」を開催します。

今回上映する作品は、耳の聞こえない両親の元で生まれ育った子ども（コーダ）である主人公の葛藤や家族への思い、親子の絆を描いた物語です。

泉南市では本年4月に、「手話は言語である」と示した手話言語条例が施行されました。本作品を通して、「きこえない・きこえにくい人」と「きこえる人」が、共に地域で支え合いながら、手話を使って自分らしく安心していきいきと暮らせるまちをめざす機会とします。

### 泉南市手話言語条例 前文抜粋

手話は、手指・体の動き・視線・表情・指さしを使って視覚的に表現する言語であり、音声言語の日本語とは文法的に異なる独自の言語として、ろう者等の中で生まれ、大切に育み受け継がれている。かつては、手話を自由に使用することが困難な社会環境にあり、また、ろう学校においても正式な教育課程として手話を学ぶ機会が十分に保障されていなかった。そのため、ろう者等は、必要な情報やコミュニケーションの確保に多くの不便や不安を感じながら生活してきた。こうした中で、障害者の権利に関する条約及び障害者基本法において、手話は音声言語と対等の「言語」として位置づけられた。また、手話に関する施策の推進に関する法律においては、地方公共団体に対して手話に関する施策を総合的に策定し、及び実施することが求められている。これは、手話がろう者等にとって重要な意思疎通の手段であることを示すものである。

### ストーリー

宮城県の小さな港町。耳の聞こえない両親のもとで愛情を受けて育った五十嵐大（吉沢亮）にとって、幼い頃は母（忍足亜希子）の“通訳”をすることもふつうの日常だった。しかし成長するとともに、周囲から特別視されることに戸惑いやいら立ちを感じるようになり、母の明るささえ疎ましくなっていく。複雑な心情を持って余したまま20歳になった大は逃げるように上京し、誰も自分の生い立ちを知らない大都会でアルバイト生活を始めるが…。

出演：吉沢亮 忍足亜希子 今井彰人 ユースケ・サンタマリア  
烏丸せつこ でんでん

—2024年/製作 日本/105分—



#### ◆◆◆ 特設人権相談を開催します ◆◆◆

市民の身近な相談相手として、法務大臣から委嘱された人権擁護委員が相談をお受けします。

とき：5月11日（月）・12日（火）午後2時～4時

ところ：泉南市役所 市民相談室

問合せ：人権推進課 TEL 072-480-2855